

道路事業

第8期北海道総合開発計画に基づき、主要施策である「食料供給基地としての持続的発展」、「観光先進国」実現をリードする世界水準の観光地の形成」及び「強靱な国土づくりと安全・安心な社会基盤の形成」を推進するための道路事業を行います。

オホーツク圏はすぐれた資源（農水産物、観光、自然）がありますが、他圏域とのアクセスを妨げる峠部が存在し、冬期は流水により海路が閉ざされる中、近年多発する暴風雪や台風などの自然災害が大きな課題となっています。

こうした状況を改善するため、高規格幹線道路等の整備、防災対策など安全・安心で豊かな暮らしを支える道づくりを進めます。

1. 食料供給基地としての持続的発展及び世界水準の観光地の形成を目指す地域社会の形成

◆ 高速交通ネットワークの形成

道央・道北圏域とオホーツク圏域の交流促進、物流の効率化、観光の活性化を支援する高規格幹線道路「旭川・紋別自動車道」等の整備を進めて、高速交通ネットワークの構築を推進します。



E39 旭川・紋別自動車道
丸瀬布遠軽道路



国道333号 生田原道路

◆ 「生産空間」を支える「道の駅」の活用・充実

オホーツク管内に広域に分散している「生産空間」を維持するために、「道の駅」を地域の拠点として活用した取組を推進します。



「道の駅」うとろ・シリエトクでの情報提供状況

◆ 多様な人材の確保・対流の促進

地域の魅力・課題に精通した地元住民等と協働して、道路の機能・役割を最大限発揮させることを目指す「協働型道路マネジメント」を推進します。

2. 「観光先進国」実現をリードする世界水準の観光地の形成

◆ 外国人ドライブ観光の推進

外国人旅行者の急増、個人旅行化に対応するとともにレンタカーを利用するドライブ観光を推進するため、多言語化による道路情報提供や観光地へのわかりやすい案内標識等の充実、快適なドライブを演出する良好な景観形成に取り組みます。

◆ 「シーニックバイウェイ北海道」の推進

<シーニックバイウェイ「秀逸な道」 試行区間>
国道243号美幌町 L=17km
(美幌峠～白樺並木)



(※シーニックバイウェイ「秀逸な道」とは、「世界水準」の観光地の形成に向け、地域と道路管理者との協働で、地域の魅力ある道路景観の重点的保全を行う取組)

ドライブ観光を推進する「シーニックバイウェイ北海道」において、地域の魅力ある道路景観が観光目的となるよう、秀逸な道等について、ドライブ観光客への情報発信・誘導、景観の重点的保全を行うなど、地域と協働した取組を推進します。

2019年度 道路事業の概要

路線名	主要事業
国道39号	[北見大通電線共同溝] (電線共同溝の整備促進) [北見本町電線共同溝] (電線共同溝の整備促進)
E61 北海道横断自動車道 (網走線) (国道39号)	[端野高野道路] (高規格幹線道路の整備促進) 2019年度新規事業化
国道238号	[紋別防雪] (防雪対策の整備促進)
国道333号	[生田原道路] (地域高規格道路の整備促進)
国道334号	[真鯉道路] (防災対策の整備促進)
E39 旭川・紋別自動車道 (国道450号)	[丸瀬布遠軽道路] (高規格幹線道路の整備促進) 2019年度開通予定
国道39号ほか	交通安全・交通事故対策の整備促進 交差点改良 : 国道 39号 美幌町美幌 (2019年度新規事業化) ほか1か所 視距改良 : 国道334号 小清水町神浦 (2019年度新規事業化) 国道334号 大空町開隆 (2019年度新規事業化) ほか4か所 路肩改良 : 国道240号 美幌町豊幌 (2019年度新規事業化) ほか4か所 中央帯整備 : 国道 39号 北見市留辺蘂 ほか1か所 老朽化・防災対策の整備促進 橋梁修繕 : 国道 39号 北見市ほか 耐震対策 : 国道244号 斜里町ほか 舗装修繕 : 国道 39号 北見市ほか 防災対策 : 国道240号 津別町ほか トンネル修繕 : 国道333号 遠軽町ほか

3. 強靱な国土づくりと安全・安心な社会基盤の形成

◆ 防災・減災対策の推進

地震・津波による被害や社会的影響を最小限に抑え安全・安心な信頼性の高い道路ネットワークを確保するため、高規格幹線道路等の整備、緊急輸送道路上の橋梁の耐震補強、道路斜面や盛土等の防災対策を推進します。



国道238号紋別防雪 (防雪対策)



国道334号真鯉道路 (防災対策)

◆ 道路施設の老朽化対策

道路施設が有する機能を長期にわたって適切に確保するため、各施設に応じた点検及び計画的・効率的な維持管理を図り、適切な老朽化対策を推進します。

◆ 無電柱化の推進【電線共同溝】

震災時における緊急輸送道路の確保、安全で快適な歩行空間の確保、良好な都市景観の形成にむけたまちづくりを支援するため、無電柱化を実施します。



国道39号
整備前



国道39号
整備後

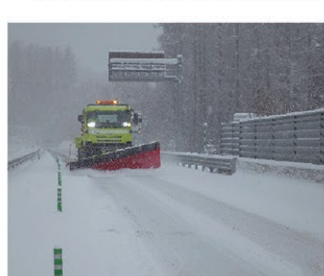
◆ 交通安全対策の推進

事故データ、地域の声やビッグデータを活用した分析により、事故の危険性が高い区間を抽出して重点的な対策を実施する「事故ゼロプラン (事故危険区間重点解消作戦)」を推進します。



国道333号視距改良 (交通安全対策)

◆ 冬期道路交通の安全確保と暴風雪災害時におけるきめ細やかな地域支援



(注: 重大な災害の発生又は発生のおそれがある場合に情報収集等を目的として自治体へ派遣する職員)

安全で円滑な冬期道路交通の確保を図るため、気象条件や交通状況等を踏まえて、適切なタイミングで除排雪作業を実施します。

また、関係機関で組織する道路防災連絡協議会で相互の連携強化を図るとともに、暴風雪災害時には除雪機械の貸付やリエゾン (注) の派遣による災害関連情報の共有等の自治体支援体制の構築を継続的に実施します。

● 持続可能な道路除雪に向けた取組 ~i-Snow~

i-Snow の取組の一環として、網走開建管内の知床峠において、準天頂衛星による自車位置把握等の実証実験を行い、除雪現場の省力化を目指す取組の効果検証します。

